

## 高病原性鳥インフルエンザに係る防疫措置の状況について（第 1 報）

東かがわ市の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザに係る防疫措置（殺処分・埋却溝掘削作業）の状況について、以下のとおりお知らせします。

### 1 殺処分の状況について

1 月 10 日(土) 9 時 00 分 殺処分開始  
14 時現在 約 7,400 羽／約 24,000 羽 31 パーセント

### 2 埋却溝掘削作業の開始について

埋却溝掘削開始 令和 8 年 1 月 10 日(土) 13 時 30 分～  
※埋却溝掘削、搬入、埋却の順で作業を行います。

#### <埋却溝の概要>

場所：東かがわ市  
規模：幅 約 9 m、奥行 約 10m、深さ 約 3 m（約 180 m<sup>3</sup>）

#### <処理予定量>

約 50 トン

#### <今後の予定>

1 月 11 日(日)から殺処分した鶏の搬入、埋却を行うこととしています。

### 3 その他

- (1) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (2) また、日本では、これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- (3) 今後とも迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

※本日 17 時頃、埋却溝掘削作業の写真及び動画データを送付します。